

公益財団法人書壇院

平成30年度事業計画

I	公益事業1	書道に関する普及啓蒙活動事業	
1	収蔵品の調査研究と貸出・公開	・・・・・・・・・・・・・・・・	2頁
2	講演会・ギャラリートーク	・・・・・・・・・・・・・・・・	2頁
3	展覧会	・・・・・・・・・・・・・・・・	3頁
II	公益事業2	書道に関する支援・能力開発事業	
1	書道に関する技能能力の審査・認定	・・・・・・・・・・・・・・・・	3頁
2	書道教育研究誌の頒布	・・・・・・・・・・・・・・・・	4頁
3	次代を担う指導者の育成	・・・・・・・・・・・・・・・・	6頁
III	収益事業		
1	事務所床賃貸事業	・・・・・・・・・・・・・・・・	7頁
2	書壇院ギャラリー・書壇院ホール賃貸事業	・・・・・・・・・・・・・・・・	7頁
IV	その他		
1	懇親会	・・・・・・・・・・・・・・・・	7頁

I 公益事業 1 書道に関する普及啓蒙活動事業

1 収蔵品の調査研究と貸出・公開

1-1 企画維持管理

- (1) 新規購入品及び寄贈品の整理・配架
- (2) 苞竹記念文庫の書庫・収蔵品の整理・管理
 - ① 閲覧図書及管理及び本の破れ等の修理
 - ② 軸額類のいたみ、破損の点検
 - ③ 硯の点検・修理
- (3) 書壇院ギャラリー展示の実施
 - ① 第107回展（企画展示）歿後45年 高古の書 近藤秋篁
 - ② 第108回展（企画展示）－企画中－
 - ③ 第109回展（平常展示）「吉田苞竹展」
- (4) その他

1-2 調査研究

- (1) 明治以前の日本の書の拓本の調査を継続する。
 - ① 釈文の採録
 - ② 粗読み
 - ③ 必要に応じ原石等の実地調査
- (2) 鐘銘拓本の整理研究は当分の間棚上げとする。

1-3 展示事業

展示計画及び会期は以下のとおり

- (1) 企画展示
 - ① 第107回展
歿後45年 高古の書 近藤秋篁
会期 平成30年4月17日（火）～6月3日（日）
 - ② 第108回展 ー企画中ー
会期 平成30年11月13日（火）～平成31年1月27日（日）
- (2) 平常展示
 - ① 第109回展 「吉田苞竹展」
会期 平成31年2月20日（水）～3月24日（日）

2 講演会・ギャラリートーク

2-1 講演会

第24回文化講演会を実施する。

演題 「表装とは」

講師 湯山富士雄先生

(湯山春峰堂代表取締役)

日時 平成30年6月3日(日)(予定)

会場 国立近代美術館講堂(予定)

定員 150名

会費 1,000円

2-2 ギャラリートーク

企画展示の期間中にギャラリートークを行う。

3 展覧会

(1) 第11回「書壇院 日本文の書」展

会期 I 平成30年6月13日(水)～6月24日(日)

II 平成30年6月27日(水)～7月8日(日)

III 平成30年7月11日(水)～7月22日(日)

会場 書壇院ギャラリー

出品者 書壇院展審査会員

(2) 第11回「書壇院展院友 日本文の書」展

会期 I 平成30年8月29日(水)～9月9日(日)

II 平成30年9月12日(水)～9月24日(月・振休)

III 平成30年9月27日(木)～10月8日(月・祝日)

会場 書壇院ギャラリー

出品者 書壇院展院友

(3) 第85回書壇院展

会期 平成30年12月5日(水)～11日(火)

会場 東京都美術館(東京・上野公園)

出品者 全国公募による出品者、院友・審査会員

(4) 第85回書壇院学生展

会期 平成30年12月5日(水)～11日(火)

会場 東京都美術館(東京・上野公園)

出品者 全国公募による小・中・高校生

(5) 第58回書壇院竹心展

会期 平成31年3月26日(火)～31日(日)

会場 セントラルミュージアム銀座(紙パルプ会館5F)

出品者 書壇院展審査会員及び書壇院展院友(特別選抜者)

II 公益事業2 書道に関する支援・能力開発事業

1 書道に関する技能能力の審査・認定

各昇位試験及び書道・南画教授認定試験を実施する。

- (1) 『書壇』漢字・かな・南画昇位試験 締切 平成30年6月7日(木)
- (2) 『書壇』玄位・妙位・雪位試験 締切 平成30年8月7日(火)
- (3) 書道・南画教授認定試験 締切 平成30年9月7日(金)
- (4) 『書壇』上位・極位・雅位試験 締切 平成31年3月7日(木)

2 書道教育研究誌の頒布

2-1 書道教育研究誌である月刊『書壇』及び月刊『学生書壇』の刊行について

(1) 書壇院は、公益財団法人としての理念を体し次の諸事項を行う。

○『書壇』・『学生書壇』の誌代を次のようにする。

『書壇』 1部700円 (送料・消費税込)

『学生書壇』 1部400円 (送料・消費税込)

○『書壇』購読者は、漢字・かな・南画・日本文・篆刻のすべての部門に無料で出品できる。

○『学生書壇』購読者は、漢字・かな・硬筆すべての部門に無料で出品できる。

○『書壇』協力員、『学生書壇』協力員の設定

過去1年間(4月号～3月号)に購読又は取扱った冊数がある一定以上に達した指導者(あるいは取扱責任者)を協力員として姓号(氏名)を誌上に発表し、協力を讃える。

(2) 『書壇』について

① 月例掲載記事は平成29年度に準じて行う。

② 表紙は書壇院蔵の「古硯」とし、裏表紙は、書壇院蔵の作品に解説を添えて載せる。

③ 「同人参考手本」

条幅・半紙共、読者の競書出品の参考となるようにする。

また、2尺×6尺・3尺×4尺の参考手本は、書壇院展・毎日書道展への取り組みを身近なものとし、制作意欲を刺激し、出品数の増加を図る目的で掲載する。(漢字・かな・日本文)

④ 「漢字規定」

上位・準上位の課題は引き続き唐詩を、玄位～六位及び新規は五言句の参考手本を掲載する。小字の課題は引き続き古典と近藤秋篁書の臨書を取り入れる。

⑤ 「かな規定」

極位・準極位は和歌又は俳句を、妙位～6[s1]位及び新規は参考手本を掲載する。

⑥ 「南画規定」

南画初学講座として参考手本と解説を載せる。

⑦ 「漢字臨書規定」

古典研究として読者の作品制作の糧となるような古典を選び、参考手本（条幅・半紙）と解説を載せる。

⑧ 「かな臨書規定」

極位～2位は古典の臨書とし、3位～6位はその中の一部分を参考手本により臨書する。

⑨ 「日本文の書」

参考手本（半紙規定・条幅規定）を掲載し、規定と随意を募集する。

⑩ 「篆刻入門」

参考手本を掲載し、規定と随意を募集する。

⑪ 随時掲載記事

「私の好きな古典」、「展覧会案内」、「展覧会報告」、「書壇院日記」その他。

⑫ 「審査会員遊苑」

『書壇』同人以外の審査会員を対象に毎月課題を設定し、作品制作をすることで書の技倆の向上に資するようにする。（漢字・かな・日本文）

⑬ 表具店、文房四宝店等の広告をなるべく多く掲載し、購読者への情報提供の拡大を図る。

⑭ 毎月の出品票の下にその月の清書締切日時を明記し、遅着のないよう注意を喚起する。

(3) 『学生書壇』について

① 月例掲載記事は平成29年度に準じて行う。

② 表紙は泗水昇鼎図より取りあげる。

③ 表紙裏に吉田苞竹の書作品を載せる。

④ 「鑑賞作品」は古典の一部を大きく掲載し、やさしい解説を添える。

⑤ 掲載手本

「毛筆部」 幼児、小1、小2、小3、小4、小5、小6、中1、中2、中3、高校（11種）

「かな部」 かな中学、かな高校（2種）

「硬筆部」 幼児、小1、小2、小3、小4、小5、小6、中学・高校（8種）

⑥ 「特待生紹介」は従来どおり掲載する。

⑦ 毎月の出品票の下にその月の清書締切日時を明記し、遅着のないよう注意を喚起する。

2-2 『書壇』『学生書壇』年間発行部数について

両誌に今後も改善を加え、魅力ある教育研究誌となるよう一層努力する。
平成30年度は以下のように設定する。

『書壇』年間売上部数 33,000部 前年計画比1,000部減

『学生書壇』年間売上部数 32,000部 前年計画比1,000部減

3 次代を担う指導者の育成

3-1 書道教室の継続実施

書道教室（漢字・かな・水墨画（南画））を月2回（原則として第2週・第4週）書壇院ホールにおいて継続実施する。

書道教室（漢字） 水曜日・金曜日

書道教室（かな） 火曜日・土曜日

水墨画（南画）教室 土曜日

書道教室（子ども） 木曜日・金曜日・日曜日

3-2 書道講習会の開催

書道講習会を年4回（日本文2回、篆刻・水墨画（南画）各1回）実施する。

日本文第1回と第2回は以下のとおり

実施日 第1回 平成30年6月30日（土）

第2回 平成30年7月1日（日）

講師 家田朱蓬（書壇院日本文部審査会員）

会場 書壇院ホール

参加費 2,000円

定員 各20名

3-3 書初め会の継続実施

正月に書初め会を実施する。

- ① 大作揮毫パフォーマンスを行い、揮毫者の意欲の向上を図るとともに一般参加者の書への関心を高める。
- ② 大作揮毫パフォーマンスの作品を、1月中、仙石山森タワー1階展示スペースに展示することを検討する。
- ③ 一般参加者には本院が用意した筆、紙、墨液、下敷き等を自由に使って各々書初め揮毫を体験してもらう。
- ④ 参加者の求めに応じて指導・助言を行う。
- ⑤ 一般参加者の作品を会場に展示して鑑賞する。
- ⑥ 子どもたちには、ささやかな「福引」に参加してもらう。

3-4 「若竹」活動の一層の活発化

- ① 「若竹」（書の向上を目指す仲間たち）の活動

若竹交流会を年2回（8月、12月）開催する。書の向上を目指す仲間たちが多数参加できる方向を目指す。

② 第4回書壇院若竹作品発表会の開催

「若竹」の活動の成果を発表するために、第4回書壇院若竹作品発表会を平成30年8月に書壇院ギャラリーで開催する。

③ 第5回インターネット展の開催

前記②の作品を世間に発表するために、引き続きインターネット展を開催する。

3-5 他団体主催展覧会への出品参加

① 毎日書道展への出品

錬成会（東京・新潟）

作品検討会（東京）

② 高野山競書大会への出品

③ 国際高校生選抜書展への出品

Ⅲ 収益事業

1 事務所床賃貸事業

賃貸人公益財団法人書壇院と賃借人森ビル株式会社が契約締結した「建物賃貸借契約書」に基づき、本院が所有する事務所床（港区六本木1-9-10 アークヒルズ仙石山森タワー27階部分）を賃貸する。

2 書壇院ギャラリー・書壇院ホール賃貸事業

公益財団法人書壇院「書壇院ギャラリー」「書壇院ホール」借用規程に基づき、利用者の使用に供する。

Ⅳ その他

1 懇親会等

展覧会・講演会実施に付随して懇親会等を開催する。

① 「第24回文化講演会」懇親会

② 「第85回書壇院展」出品者懇親会

③ 「第58回竹心展」懇親会

平成30年度 公益財団法人書壇院収支予算(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

単位:円

事業区分 収支科目	公1 書道に関する普及啓蒙活動事業				公2 書道に関する支援・能力開発事業				公益事業計	収益・その他 事業	法人会計	合計
	1 収蔵品の 調査研究と 貸出・公開	2 講演会	3 展覧会	計	1 書道に関 する技能能力 の審査・認定	2 書道教育 研究誌の頒布	3 次代を担う 指導者の育成	計				
収益科目												
事業収入	20,000	150,000	29,573,000	29,743,000	3,685,000	36,990,000	3,964,000	44,639,000	74,382,000	61,263,000	0	135,645,000
懇親会収入										4,180,000		4,180,000
受取寄附金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6,917,000	6,917,000
雑入	0	0	13,000	13,000	0	0	25,000	25,000	38,000	0	0	38,000
収益計	20,000	150,000	29,586,000	29,756,000	3,685,000	36,990,000	3,989,000	44,664,000	74,420,000	65,443,000	6,917,000	146,780,000
費用科目												
役員報酬	900,000	174,000	3,438,000	4,512,000	1,164,000	1,768,000	416,000	3,348,000	7,860,000	0	1,730,000	9,590,000
給料手当	259,000	111,000	1,295,000	1,665,000	1,221,000	5,917,000	671,000	7,809,000	9,474,000	222,000	8,802,000	18,498,000
退職給付	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	107,000	107,000
福利厚生費	43,000	19,000	207,000	269,000	203,000	980,000	116,000	1,299,000	1,568,000	37,000	1,457,000	3,062,000
会議費	0	0	276,000	276,000	0	0	0	0	276,000	0	300,000	576,000
旅費交通費	996,000	71,000	6,343,000	7,410,000	450,000	1,467,000	1,322,000	3,239,000	10,649,000	1,000	252,000	10,902,000
通信運搬費	298,000	13,000	1,960,000	2,271,000	353,000	3,292,000	219,000	3,864,000	6,135,000	0	188,000	6,323,000
減価償却費	560,000	560,000	560,000	1,680,000	560,000	560,000	560,000	1,680,000	3,360,000	12,162,000	460,000	15,982,000
消耗什器備品費	1,000,000	0	0	1,000,000	0	0	0	0	1,000,000	0	0	1,000,000
消耗品費	150,000	103,000	1,584,000	1,837,000	99,000	153,000	196,000	448,000	2,285,000	0	600,000	2,885,000
委託管理費	630,000	630,000	3,150,000	4,410,000	172,000	172,000	175,000	519,000	4,929,000	0	718,000	5,647,000
修繕費	500,000	0	200,000	700,000	200,000	0	200,000	400,000	1,100,000	0	500,000	1,600,000
印刷製本費	102,000	0	1,192,000	1,294,000	290,000	12,500,000	0	12,790,000	14,084,000	0	238,000	14,322,000
光熱水料費	19,000	19,000	102,000	140,000	15,000	15,000	105,000	135,000	275,000	12,000	95,000	382,000
賃借料	223,000	831,000	6,985,000	8,039,000	92,000	92,000	102,000	286,000	8,325,000	0	357,000	8,682,000
保険料	426,000	46,000	50,000	522,000	6,000	6,000	7,000	19,000	541,000	262,000	21,000	824,000
諸謝金	20,000	120,000	320,000	460,000	70,000	600,000	1,574,000	2,244,000	2,704,000	0	550,000	3,254,000
租税公課	721,000	721,000	1,521,000	2,963,000	156,000	2,504,000	1,092,000	3,752,000	6,715,000	7,677,000	382,000	14,774,000
負担金	0	0	200,000	200,000	0	0	0	0	200,000	0	0	200,000
渉外費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	250,000	250,000
業務委託費	1,000,000	114,000	7,845,000	8,959,000	543,000	7,337,000	742,000	8,622,000	17,581,000	21,000	670,000	18,272,000
手数料	0	1,000	112,000	113,000	0	272,000	48,000	320,000	433,000	31,000	10,000	474,000
広告料	400,000	0	1,630,000	2,030,000	0	0	71,000	71,000	2,101,000	0	422,000	2,523,000
出品料	0	0	0	0	0	0	1,300,000	1,300,000	1,300,000	0	0	1,300,000
懇親会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,380,000	0	4,380,000
雑費	0	0	25,000	25,000	0	0	6,000	6,000	31,000	54,000	200,000	285,000
費用計	8,247,000	3,533,000	38,995,000	50,775,000	5,594,000	37,635,000	8,922,000	52,151,000	102,926,000	24,859,000	18,309,000	146,094,000
収支差額	△8,227,000	△3,383,000	△9,409,000	△21,019,000	△1,909,000	△645,000	△4,933,000	△7,487,000	△28,506,000	40,584,000	△11,392,000	686,000
収益事業からの補填額	8,227,000	3,383,000	9,409,000	21,019,000	1,909,000	645,000	4,933,000	7,487,000	28,506,000		11,392,000	39,898,000